

安城市内景況調査結果 (2019年1～3月期)

＜ 全産業において雇用人員の不足が続く見通しである ＞

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 102企業
 2. 調査対象時期 2019年1～3月期
 (1)前年同期(2018年1～3月)と比べた今期の状況
 (2)今期と比べた来期(2019年4～6月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	24	19	24	24	11	102
構成比	23.5%	18.6%	23.5%	23.5%	10.9%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、3.8ポイントとなった。業況判断の前回実績(7.7)と比較すると3.9ポイントの下降であった。一部業種において収益状況に緩やかな上昇が見受けられるが、全業種において雇用人員の不足が続く見通しである。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	7.7	3.8	△5.8
売上高	9.6	2.9	△5.9
売上単価	△4.8	△4.9	△9.9
資金繰り	△1.9	△6.9	△4.9
借入難度	0	△1.0	△3.0
収益状況	△3.0	△2.9	△2.9
雇用人員	△17.5	△12.8	△11.7



		全産業											
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業		その他			
前年同期対比	業況判断	3.8		1.0		15.9		△8.3		19.2		△22.2	
	売上高	2.9		8.4		△5.2		0		15.4		△22.2	
	売上単価	△4.9		△12.4		△5.2		△4.2		7.8		△22.2	
	資金繰り	△6.9		△16.6		5.3		△12.5		△3.8		0	
	借入難度	△1.0		△8.3		10.5		△4.2		0		0	
	収益状況	△2.9		△16.6		10.6		△12.5		7.7		0	
	雇用人員	△12.8		△8.4		△36.8		△8.3		△3.9		△11.1	
来期の見通し	業況判断	△5.8		8.3		△15.7		△20.8		△3.9		11.1	
	売上高	△5.9		△4.2		△5.2		△16.6		△3.9		11.1	
	売上単価	△9.9		△20.8		0		△16.7		1.0		△11.1	
	資金繰り	△4.9		△12.6		15.8		△12.5		△11.6		11.1	
	借入難度	△3.0		△8.3		10.5		△4.2		△7.7		0	
	収益状況	△2.9		△4.2		5.2		△16.7		△3.9		22.2	
	雇用人員	△11.7		△8.4		△26.3		△12.5		△3.9		△11.1	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。